

中村橋駅周辺まちづくり検討会

第1回駅周辺まちづくり部会 議事要旨

[日 時]

令和4年9月21日（水）18時30分から20時00分まで

[会 場]

サンライフ練馬3階 研修室第一・第二

[出席者]

部会長 杉崎（学識経験者）

委員 江村（商店会）、関口（商店会）、内田（商店会）、長坂（町会）、
海老名（学校）、宇都宮（学校）

オブザーバー 荻原（専門調査員）

[事務局]

美術館再整備まちづくり担当課 竹内、松本、中山、納谷

美術館再整備担当課 橋本、末田、竹清

[傍聴者] 0名

[議事次第]

1. 開会
2. 議題
 - (1) 駅周辺まちづくり部会の進め方について
 - (2) 中村橋駅周辺まちづくりにおける課題について
 - (3) 「まちの将来像」について
3. その他

[配布資料]

- ・資料1 駅周辺まちづくり部会の進め方イメージ
- ・資料2-1 中村橋駅周辺まちづくりにおける課題
- ・資料2-2 まちづくり課題シート
- ・資料3 「まちの将来像」の検討

1. 開会

- ・事務局からの事務連絡、部会長の挨拶を行った後、プログラムに沿って議事を進めた。

2. 議題

(1) 駅周辺まちづくり部会の進め方について

- ・事務局から資料1の説明。

部会長	・資料1の進め方をふまえつつ、柔軟に対応していきたい。
-----	-----------------------------

(2) 中村橋駅周辺まちづくりにおける課題について

- ・事務局から資料2-1、資料2-2の説明。

部会長	<ul style="list-style-type: none">・課題山積という感じである。補助133号線、中杉通りなど以前からある課題と練馬区立美術館の再整備、練馬城址公園・スタジオツアー施設など新しい課題について、議論していきたい。・本部会は、資料で掲げた課題をベースに、抜け落ちている視点、さらに必要な視点についてご意見をいただきたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・資料1でお示ししたのは事務局側の視点で整理した課題である。すぐに解決できない課題もある。・今回の練馬区立美術館リニューアルの機会を活かし、以前からある課題や新しい課題、まちの将来像などの方向性を、構想として整理していければと考えている。
部会長	<ul style="list-style-type: none">・事務局側で主な課題を整理いただいたが、時間軸をふまえた整理はされていないようである。10年後の課題、さらに将来の課題など。次回の部会に事務局側からご提案いただきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none">・二つの考え方があると思われる。・一つは課題に対応した考え方。ただし、現在の課題が、将来も課題になるとは限らない。10年後には解決を必要としない課題もある。・もう一つはポジティブアプローチとして、10年後、20年後の中村橋はこうあるべき、あって欲しいというまちの姿を基に、行動していく考え方がある。・考え方は二つあるが、課題や将来像は具体的に思い浮かんでいる訳ではない。

部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次の議題が「まちの将来像」についてであり、ご指摘いただいたことについては事務局が説明する。課題を解決すれば良いまちになるとは限らない。将来像を示しつつ、課題を解決していく手法は、まちづくりでは大事である。 ・ここまでは課題の整理である。次の議題では、一旦課題は横に置き、「まちの将来像」の事務局案を説明いただく。 ・皆さんから、夢のあるまちの姿についてご意見いただき、当資料をブラッシュアップしていきたい。
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

(3) 「まちの将来像」について

- ・事務局から資料3の説明。

部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・中村橋駅周辺の特徴をふまえ、3つのエリアと中杉通り、計4つの視点に分けて議論しては、と事務局からの提案である。本部会の今回と次回において、概ね大事そうなことは、将来像として方向性を決めていきたい。 ・皆さんからご意見や感想をいただきたい。例えば、分け方についてとか、将来わくわくするためにも、こういう言葉、要素が入っていたほうがまちの将来に期待できるのではないかなど。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・補助133号線の整備について。道路整備は10年単位で進む。現在、目白通りから千川通りまでは整備された。 目白通り北側の道路整備は、としまえん跡地で整備が進む練馬城址公園（避難場所）、スタジオツアー施設（ハリーポッター）へ繋がる道路であり、今後の道路整備が期待される。 千川通り南側の道路整備では、バス運行ルートが、現在の中杉通りから補助133号線に変更され、中杉通りは買い物しやすい商店街になると思われる。用地取得が進んでいないようであり、道路完成には長い時間がかかりそうである。 ・中杉通りの商店街を、今後どのようにしていくかは、大事な課題ではある。都道から区道への移管が遅れており、道路整備が進められない状況である。 ・駅周辺とはどのあたりまでか。半径1km程度か。 ・直近の議論は、資料2-2, 13頁の、駅前整備や商店街の街路灯等で進めるのでよいのではないか。令和9年度に練馬区立美術館再整備が完成する。美術館が開設するまでに、駅前広場、駅北口道路のアーティスティックな検討が考えられる。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・もう一つの「美術のまち部会」で、美術館によるソフト、ハード的なまちづくりの議論を行う予定である。 ・時間の使い方として、全ての課題を議論することは、何十年もかかるため現実的ではない。ひとまず美術館がリニューアルオープンするまでに何をするか、議題を絞りこむことである。

	<ul style="list-style-type: none"> ・中杉通りについては、「賑わい」的な表現をするのかどうか。 ・補助133号線については、沿道をどうするか。なお、現在整備済みの補助133号線の沿道は、まちなみとしてあまり変化が無い状況である。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・千川通り南側の中杉通り商店街について、現在、会員は49軒である。店主の高齢化が進み、減ってきている状況である。ほとんどの方は、店を閉めてはいるが住んでおり、自分で商売をせず1階をテナントとして貸している。テナントの業種はほとんど飲食店である。 ・商店街の業種は、買い物を楽しめる業種でなくなってきている。昔は、夕飯の買い物で商店街が賑わった。魚屋、肉屋、八百屋の生鮮三品があったが、今はほとんど無くなってしまった。現在、中村橋周辺には大手のスーパーができ、個人経営の店舗は閉めることとなった。今の商店街には、買い物を楽しめる人の流れが無い状況である。 ・補助133号線が整備されるとどうなるか、時間的な感覚が理解し難い。補助133号線の開通は何年も先であり、美術館の方が先に完成する。まちづくりが優先なのか、美術館ありきのまちづくりなのか。 ・補助133号線、中杉通りは、東京都の管轄である。練馬区だけでは決められない。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・本部会の議論は、どれくらい先を目指して行うのか整理したい。 ・中杉通り商店街は、はたして資料3の「買い物を楽しめる通り」を目指すのか。現実には、飲食店などの賑わいはあるが、日常的な買い物をする場ではなくなっている。中杉通りは、車が通るには道幅が狭いが、車が通らなくなったら広がる。沿道で商売される方が、それをどう活かすのか。買い物に戻すだけでなく、もう少し違う表現になると思われる。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は短期から長期的なものまで色々ある。時間軸が違う課題は一緒に検討はできない。 ・美術館リニューアルオープンまでの直近の議論は、「美術のまち部会」での議論が中心になるが、本部会でまったく美術館に触れないということではない。 ・一方、美術館以外にもいろいろご意見いただきたい。本部会では、過去の実現できなかった課題、現在の課題（補助133号線整備事業、としまえん跡地で整備）、将来の課題についてと、3段階の議論があると考えている。事業に10年～20年かかることから長期的な検討となる道路およびまちの課題について、主に議論していきたい。 ・商店街については、人の往来や集まることによる賑わいづくりは、大事だと思う。

<p>部会長</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事務局側の考え方としては、本部会の役割は、美術館リニューアルオープン後の、道路などまちの将来像を議論するということか。だいたい先の課題であることから、その時が来てから議論することも考えられる。 今後の人の往来やまちなみを、どのようにまちづくりとして考えていくかが、本部会で議論する主旨である。確かに、美術館の再整備が、まちづくり検討の再度のきっかけになっており、2つの部会で議論が重なるところが出てくる。本部会員からの美術館に関わるご意見は、全体会へ反映させていきたい。
<p>委員</p> <p>委員</p> <p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> 千川通りも議論に上げたい。中杉通りが変わるのであれば、千川通りも中村橋では特徴的な場所であり議論してみたい。 千川通りは桜の名所であり、春には多くの人が集まる。元は川が流れていたことから、例えば、人が集まるような空間として川を復元し、自然の中で桜が見られるようなつくりなどがイメージできる。 課題などを掲げていただき、美術館の視点は大事であると理解できる。 一方、中村橋は住んでいる人にとって、けっこう住みやすいイメージがある。まちづくりではもう一度、良い部分を検討したほうがよい。何故そこがいいのかということを活かしたかたちでまちづくりを進めたい。 目白通りや千川通りなどがあるが、少し住宅地の中に入ると、比較的、公園があり、小さな子どもが利用している。 商店街の古い街並みに対し、アートのまちなみをつくる。各商店が頑張らないと。個々の対応を進めながら、全体のまちづくりを進めるのが良いと思う。 「まちの将来像」を考える上で、千川通りの議論はある。 中村橋がなぜ住みやすいのか、生活しやすいのか、という切り口で、検討、追及していくことも大事である。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料3はよく整理されている。美術館ができ、練馬城址公園ができ、将来、補助133号線ができ、中杉通りなどまちが大きく変わっていくという説明は、理解しやすい。他人に説明する上でも、4つのキーワードは周知しやすいというのが感想である。 意見として、どこまで将来を議論すればよいか。 (現在整備済み区間の) 補助133号線は、幅の広い道路であるが車が通っていない印象があり、もっと活用することはできないか。 私はこの近くに住んでいるが、車で出かける場合、中杉通りを通らざる得ない状況になる。中杉通りを通らず目白通りへ出るためには、だいたい西へ迂回し、狭い道路を通らないといけない。 子どもが、美術館やアートに触れられる場が欲しい。

<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 2-2, 12 頁、長谷川町子美術館のような演出ができれば素晴らしい。しかし美術館へ向かう道路のインターロッキング舗装は、はたしてこれを行って住民が良いまちと思えるかはわからない。 ・中村橋でどうしていくのがよいのか、イメージできない。具体的にイメージできるようになると、将来像も〇〇のまちとして方向付けできると思われる。 ・子どもが、もっと自由に遊べる場所があるとよい。近くにキャッチボールのできる場所がない。今日、子どもと中村公園に遊びに行ってきたが、この公園に関して子どもが怪我をしやすいため気を付けるように、という情報があると聞いている。 ・普通に生活しやすいまちづくり。そこに美術館といった特徴のあるまちづくり。両方を大事にしたい。 ・補助 133 号線については、完成はずいぶん先である。完成後の議論だけではなく、段階的な課題、議論がありそうである。例えば、10 年後はここまで整備されるので、こういう課題が出てきそうだななど。 ・子供の遊び場として、例えば、キャッチボールなどは鉄道高架下を利用できないのかと思う。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・町会エリアの真ん中を通過する補助 133 号線ができると、町会が東西に分断されてしまう。幅の広い道路であり、道路反対の方とのコミュニケーションを取るのが難しくなることを最も心配している。
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路ができることでの弊害といえる。練馬区内の都市計画道路の課題として、どう対応していくかである。
<p>委員</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館・図書館再整備の計画は進んでいると思われる。美術館・図書館再整備の計画において、デパート内にある美術館のように、美術館を見に来た人が買い物をしていくような、人を呼び込める動線など考えられないか。例えば、10 階建ての複合施設として、最上階に美術館、下層階に店舗など。
<p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の敷地は、高い建物が建てられない地域となっている。 ・現在、設計業者を決める段階である。設計業者を決めた後は、建築制限の中で、どのような美術館にするか計画していくことになる。
<p>部会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美術館の中の商業施設というより、どう商店街側へお客さんを引き込んでいくかである。むしろ美術館内にレストランなど無い方が、商店街へ飲食等の客を誘導しやすくなる。 ・最近の考え方は、ひとつの建物内で人の動線を収めるより、周辺を歩きまわる方が、トレンドである。例えば、美術館を見た後、周辺で食事、買い物をしてもらうなど。理想は、桜新町駅と長谷川町子美術館のように、美術館が

事務局	<p>駅から離れている方がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちあるきとセットにすれば、今らしい美術館とまちの関係になると思われる。 ・商店街へ寄ってから美術館へ行く、もしくは美術館を見終えた後に商店街に寄っていくなど、事務局としても、回遊性を持たせたほうが良いのではと考えている。
部会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局の宿題として、時間軸の設定をお願いしたい。 ・将来像については、2つの切り口で考えてはどうか。今、暮らしやすい街である中村橋の魅力をどう活かしていくか、さらに美術館がリニューアルするチャンスをどう中村橋の魅力に加えていくか。 ・次回もう一度、本議論の続きを行う予定である。本日の意見（千川通りを含める、段階的なまちづくりとするなど。）を踏まえた上で、もう少し充実させていきたい。

3. その他

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・8月に実施したアンケート結果の概要について。皆様にはご協力いただき感謝申し上げます。 ・回答総数 344 件。幅広い世代層からご回答いただいた。 ・いただいたご意見としては、例えば、千川通り南側の中杉通りについては、バス停のあるマクドナルド前で人が滞留して危ない、千川通り北側の中杉通りについては、車と歩行者が混在して危険であるなど。 ・回答結果のまとめは現在作業中であり、整理でき次第、改めて提示させていただきます。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡事項について。 ・次回は12月を予定。近日中に日程調整を行いご連絡したい。 ・第1回美術のまち部会を10月25日に開催する。

以上